



「大阪ものづくり優良企業賞 2017」受賞企業への 豊田政男審査委員長からのメッセージ

『大阪ものづくり優良企業賞』は、今回で10回目を迎えることができました。今回は、審査の結果、「優良企業賞」76社、「知的財産部門賞」7社を選定しました。

また書面審査で評価の高かった企業を対象に、企業訪問とプレゼンテーション審査を行い、「最優秀企業賞」1社、「技術力部門賞」1社、「審査委員特別賞」2社、「夢・未来・ORIST賞（(地独)大阪産業技術研究所理事長賞）」1社を選定し、知的財産に関する活動に対する評価の高かった企業の中から「知的財産部門優秀賞」1社を選定しました。

今回の最終審査には、金属製品・部品、窯業、機械器具など様々な業種の企業が臨みましたが、最終的に審査委員全員の合意により、永年培ったノウハウとユーザー目線で多数の製品ラインナップを擁し、戦略的な技術展開でオンリーワン製品の開発に積極的に取り組む1社を「最優秀企業賞」としました。

また、「最優秀企業賞」と甲乙つけがたい3社のうち、1社を「技術力部門賞」、2社を「審査委員特別賞」に選定しました。

これらの企業は、創業125年の経験を新製品の展開に活かし、常に他社との差別化を図りチャレンジを続ける企業や、家電メーカーの専属工場からスタートし、長年に渡り培ってきた加工組立技術を基に多様な顧客を擁するまでに成長した企業、創業以来「最終完成品メーカー」であることにこだわり続け、運搬機市場で高いシェアを獲得した企業です。

「夢・未来・ORIST賞」には、鑄造工場用プラント各種装置や環境機器を手掛け、他に類を見ない発想で自社製品の開発を続ける企業1社を選定しました。

また「知的財産部門優秀賞」は最優秀企業賞との同時受賞となりますが、他社の模範となる知的財産戦略を有する企業1社を選定しました。

今回の審査を通じて、永年の経験に裏打ちされた高い技術力で新しい展開をめざし、常に社会の進歩のため世の中になくはないものを提案し続ける大阪ものづくり中小企業の姿勢を見て、「大阪のものづくり」の卓越した技術力と新たな展望を切り開く力強い躍動感を感じることができました。また、応募された企業には、創業から数十年を超える長い歴史を持つ企業も多く見られたように、10回の節目を迎えた「大阪ものづくり看板企業（匠企業）」の公募ですが、大阪府内には、まだまだ優秀で意欲の高い中小企業が潜在的に存在し活躍していることの証でもあり、本賞の審査の意義も改めて感じられました。

本顕彰事業を受賞した匠企業の数も、10年間で644社となり、毎年多くの企業が選定されていることは、本事業が定着したことを物語るとともに、「大阪のものづくり」の潜在的な力を感じさせるものと言えます。

新たに受賞した企業76社には、「大阪ものづくり看板企業」として、ますますの発展を確信するとともに、我が国のものづくりの牽引役として、その持てる技術力・企業力をより一層発揮されることを期待しつつ、受賞されました各位に心より祝意と敬意を表します。

大阪中小企業顕彰事業審査委員会 審査委員長 豊田 政男
(大阪大学名誉教授)